

平成 30 年度 調査研究委員会 事業報告

1. 活動テーマ

会員による研究活動の推進

2. 目的

調査研究事業を通じて保健師の専門性を確保し、保健師の資質向上と保健師業務に係る課題に対して、全国保健師長会調査研究事業（独自事業）の実施により、保健師活動の専門性を高めた活動の推進を図る

3. 実施内容

回	開催日	場 所	内 容
1	4 月 22 日（日）	東京八重洲倶楽部	第 1 回調査研究委員会 （1）平成 30 年度調査研究事業について （2）日本公衆衛生学会における事業 PR について
2	4 月 28 日（土）	東京八重洲ホール	理事会 ・平成 29 年度調査研究事業報告 ・平成 30 年度調査研究委員会計画案について
3	5 月		応募自治体への採択決定通知 事業開始
4	7 月	（メール会議）	メール会議：2 回開催 ・委員会等における調査研究への助言
5	10 月 24 日（水） ～10 月 26 日（金）	ビックパレットふくしま	第 77 回日本公衆衛生学会総会でのブース展示
6	1 月	（メール会議）	平成 31 年度調査研究事業募集要綱作成について
7	2 月	（メール会議）	常任理事会：平成 31 年度調査研究事業応募要項（案）の検討
8	2 月		平成 31 年度調査研究事業募集
9	3 月 24 日（日）	東京八重洲倶楽部	第 2 回調査研究委員会 （1）平成 30 年度調査研究事業の評価について （2）平成 31 年度調査研究事業の選定について （3）平成 30 年度調査研究委員会報告書（案）

4. 結果・課題

2 事業の応募があった。変革期において時代に求められる課題は多いので、引き続き、会員には保健師のリーダーとして必要な研究に積極的に取り組んでいただきたい。

この 2、3 年は人材育成等類似するテーマの応募が多いが、研究の枠組みが自由であるため言葉の定義も事業ごとに異なるため、波及効果が生み出せない。保健師活動を取り巻く課題に対する中長期的な調査研究計画を検討する必要があると考える。

第 77 回日本公衆衛生学会総会でのブース展示を行い、全国保健師長会及び調査研究事業について広く周知を図った。

5. 委員

○委員長	浅井 澄代	埼玉県熊谷保健所 副所長
	福原 円	小山市保健福祉部地域包括ケア推進課 地域支援係長
	森松 薫	福岡県糸島保健福祉事務所 副所長
	吉田 知可	大分県西部保健所地域保健課疾病対策班 主幹
オブザーバー	田高 悦子	横浜市立大学大学院医学研究科・医学部看護学科地域看護学領域 教授
オブザーバー	北岡 英子	神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部看護学科 教授
オブザーバー	松本 珠実	国立保健医療科学院 客員研究員 (大阪市阿倍野区役所保健福祉課 保健副主幹兼担当係長)